



## 自学習の指針 IATA DIPLOMA基礎コース受講者の皆様へ

この度は本コース受講登録を頂き誠にありがとうございます。

### 受領教材チェック

まず お手元に届いたテキスト類をご確認下さい。□にチェックして下さい。

●英文教材 IATA作成の世界共通教材です。まれに乱丁落丁があります。内容をご確認下さい。

□・Dear Students,

受講者各位へのIATAからのレター(A4サイズ片面印刷)です。

□・Cargo Introductory Course Course textbook 3.0 Edition

基礎コースのメインテキストです。Course Guide , Module 1～Module 11 の章建てです。

□・Cargo Introductory Course TACT Training Edition 3.0 Edition

IATA が発行する TACT (The Air Cargo Tariff) Manual の Rules(規則)および Rates (運賃)を学習用に抜粋し、一冊にまとめたものです。

・認定試験では、TACT Training Edition 3.0 Edition を参照して問題を解答します。

●和文教材 (自学習サポートのためにJAFAにて作成しました)

□・国際航空貨物マニュアル

JAFA 作成の日本語副読本です。手引書と併せ Course textbook に取り組む前にまず目を通して下さい。

□・「基礎コース手引書 2.0 版対応」

今回よりIATAディプロマ基礎コース英文教材が3.0版に改訂されました。

お渡しした手引書は2.0版対応のため記載の参照ページが3.0版と異なります。

そのため、【手引書(2.0版)におけるテキストブック(3.0版)対応項一覧】を差し込んでおります。ご不便おかけしますが、本一覧表を元にご確認下さい。

「手引書」は 英文教材の Module ごとの内容を簡潔にまとめ、Course textbook に取り組むための一助として作成しています。まず「手引書」を読むことから始めて下さい。

また、学習の過程で常に見直すよう心がけ、学習内容を「手引書」のメモ欄に書き込むようにして下さい。

□・エアフレイトフォワードターの専門用語集

JAFA 作成の日本語用語集です。専門用語の検索に活用して下さい。

※落丁・乱丁や不足がありましたら、航空貨物運送協会(JAFA)事務局

電話 03-6222-7571 FAX03-6222-7577 E-mail [diploma@jafa.or.jp](mailto:diploma@jafa.or.jp) へご連絡下さい。

会社を通じてお申し込みの方は教育ご担当者を通じてご連絡下さい。

お問い合わせ受付時間 9:00～12:00／13:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

## 試験までの流れ

### ①【自学習】の総量がIATA DIPLOMA試験の合否を決めます。

IATA DIPLOMA 基礎コースは学習範囲が広いいため、最低でも 100 時間（実務経験者）～200 時間超（実務未経験者）の学習時間を要求します。

### ②基礎コースの試験内容

試験は3時間です。試験問題は100問出題され、解答は4択・マークシート解答方式です。

英文教材 TACT Training Edition 3.0 Edition を参照して解答する問題と、Course textbook 3.0 Edition から出題される暗記の問題から構成されています。

### ③試験日までの全体計画を確認してください。

教材受領日から試験日までは以下の流れです。

#### 1)教材の開封

前記に従い、内容をご確認下さい。

#### 2)英文教材へ見出しを付ける

基礎コースを学習するにあたり、皆様は英文教材を頻繁に開く必要があります。

該当の章を素早くサーチするためにふせん等を利用して「見出し」を付けましょう。

Cargo Introductory Course TACT Training 3.0 Edition

試験会場へ持ち込む教材です。試験当日も付せんをつけたままで持ち込めます。

TACT Rules, TACT Rates (Worldwide),TACT Rates (North America) に付せんを

つけて下さい。学習を進め、サーチしたい項目の付せんを増やして下さい。

Cargo Introductory Course Course textbook 3.0 Edition

Textbook は Course Guide, Module 1～11 の章建てになっています。

各 Module ごとに付せんを利用して見出しを付け、併せて見出しに表題（例えば

M1 :Industry regulations)を記載して下さい。Course textbookは試験会場へ持ち込めません。

#### 3)自学習開始

まず、「国際航空貨物マニュアル」及び「基礎コース手引書 2.0 版」を熟読して下さい。

その後 事前講習会までに英文教材 Cargo Introductory Course textbook 3.0 Edition の中 にある各モジュールの Study Check を学習するところまで自学習して下さい。

Textbook の基本構成は、

★Unit Overview : 学習項目の概要説明

★Key Learning Point : 学習項目について理解すべき重要点

★Unit Summary : 学習項目についてのまとめとなり、各章ごとに設問があります。

★Study Check : 練習問題

★Module Summary : 章のまとめ

全編英文ですが分かり易く構成されています。全 11 章で次のとおりです。

- Module1 : Industry Regulations
- Module2 : The Air Cargo Agency
- Module3 : World Geography
- Module4 : Use of Guides
- Module5 : Aircraft
- Module6 : Handling Facilities
- Module7 : Air Cargo Acceptance
- Module8 : Cargo Booking Procedures
- Module9 : Cargo Automation
- Module10 : Air Cargo Rates and Charges
- Module11 : The Air Waybill

#### 4) 事前講習会の参加

事前講習会では、皆様が各モジュールの Study Check まで終了していることを前提として試験対策のまとめを行います。事前講習会は任意参加ですが、合格者の殆どは参加していますので是非ご出席下さい。

#### 5) Model Examination の取り組み

Course textbook P.15～33 に掲載の Model Examination に取り組んで下さい。解答は同 P.34～35 に掲載しています。

#### 6) 模試問題の取り組み(自身で模試)

模擬試験問題は、事前講習会でお渡しします。ご自身で時間を決め、取り組んで下さい。

#### 7) 試験当日

前述②基礎コースの試験内容をご覧ください。

#### 8) 学習中の質問について

疑問点・理解できない事項は、遠慮なくメールにてご質問下さい。

事前講習会担当講師より回答いたします。

**質問専用メール:** [QA.Diploma.KISO@jafa.or.jp](mailto:QA.Diploma.KISO@jafa.or.jp)

#### 質問メール送信時のお願い

- ① 質問の際、件名に受験予定地(東京・名古屋・大阪・福岡)を明記して下さい。
- ② ご質問の際、何がわからないのかを具体的に書いていただくことで、より正確な回答が可能となります。

件名例「大阪で受験予定 Textbook P.578 通貨のラウンドオフについて」

件名例「東京で受験予定 ○○講師へ質問 通貨のラウンドオフについて」

(東京地区は複数の講師が担当するため、受講予定日の講師名を記載してください。)

以上